

【刊夕】日二十二月四



定部金一錢五分 郵費五錢 印刷費五錢
 發行所 東京市神田區大塚 新報社
 電話 三六三〇 電報 新報社
 社址 東京市神田區大塚 新報社
 電話 三六三〇 電報 新報社

花祭りと釋尊傳

桐原英純

(七)

▽苦行林

王宮を抜け出でられた釋尊は俗説には、物語りとして有名な檀持山に入られたことになつてゐますが、この檀持山は本生經に現はれた太子の前身物語に出てゐる名であつて、その山は今も中印度の健陀羅國にあり、まず共太子は實にはその山に入られたのではありません。單に苦行林に入られたと云へば文句はない譯であります。

釋尊は先づ道を東方に走りて藍摩城外の林中に入り、そこですし髪して出家の黄衣をまとひ御者と白馬を迦毘羅城に歸らしめて一砂門の身となり當時、印度文化の中心たる摩伽陀國に向はれた蓋しその首府王舍城附近の森林中には當時有名な仙人が多く修行してをり太子もそれに學ばんためであつたでせう。

生れたいと云ふのでありました、しかし天國に生れたら結局輪廻の一舞臺たるに過ぎぬとして、そこを辭去し、南に向はれたこのとき太子の出家を引戻すべく父王の使者が追ひつきて、父王の悲嘆城中の混亂を樓説し、歸城を嘆願しました。これ共太子の志を嚮へす能はず、阿若喬陳如以下五比丘はこれより太子修行の伴侶として隨行する事になつた。恒河を渡り、王舍城に達せらるゝや、隣國の皇太子が出家して入城したと云ふので大變な評判となりました。國王頻婆沙羅王は摩伽陀國の半ばを割き與ふる故にこの國に留られたしと懇願しましたけれど、及ばず太子は更に阿羅漢、迦蘭の二仙人について數ヶ月間教へを受けられたるも満足する事を得ず、遂に當時の如何なる學者も其師として頼むに足らざる事となり、禪定と苦行によつて真正の解説に入るべく獨自の道歩まると事となりました。

▽修禪と苦行
 その當時の印度の代表的な學派即ち大派哲學を、更に大別いたしますと修定主義と苦行主義の二つとなり、それと掛けはなれた放縱主義とも云ふべき順世道と云ふ一派がありました。順世道と云ふのは讀んで字の通り、世間の成行に順應すると云ふ行き方で、樂はし徳旨いものは食ひ徳今日あて明日ない命ぢや、前世の來世のと云ふ如きものがあるものか、万事は成行きに任せると云ふ利那主義、享樂主義で至極現代式の行き方でありませう。その他の修定主義と云ふのは禪定を修むることによつて悟りに入らうと云ふのであり世間を捨て、主として森林に入つて瞑想にふけりました。今一つの苦行主義と云ふのはその名の如く苦行を修することによつて真正の道に到らうと云ふので、今一步平たく申せばこの煩悩のつきまとうてゐる肉體を切り離すことによつて清淨な我れの本體を發見しやうと云ふので發見されたら何うなるかと云ふに自在の身を得る即ち空中をも自由に飛行することが出来ることと云ふ空想をもがいた仙人の修行であつたのであります。

貨切の御用命は

皆様のタクシー！それは乗心地にナンバーワンのイワキタクシー

駅前 イワキタクシー

電話五六九番

産婆開業

私事三井銀行株式會社本館業所に開業致して居りましたが今般左記の所に轉居開業致しました何卒御引立を御願申上げます

安全に努めます

御困りの御方には無料で御扱ひ致します
 平町田町五十二番地(安齋外科醫院人口角)
 産婆 白石テル
 (呼)電話六五三番

移轉廣告

丸大運送株式會社

社長 長谷川伊左衛門
 移轉場所 平町田町五七番地
 (日進堂支店前)
 電話四六八番

何故ニ安イ?

1. 合理化サレタル工場ノ大量生産ナルガ故ニ
2. 中間問屋ノ手ヲ經ザルガ故ニ
3. 薄利多賣スルガ故ニ

五圓均一 赤編上靴 赤編短靴 黒編上靴 黒編短靴

四圓 四圓五十錢 黒編上靴、中等新入學生靴

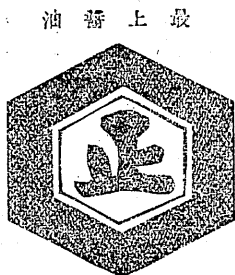
高級ボツクス皮耐久無化、体裁美、ノーアル型中丸型、フランス型、各種

平四 (マルトモビル内) 菊地靴店

理想的耐水耐熱接合劑 キングパスト

●水か微湯で溶せばすぐ使へる簡単な膠着劑
 ●一名コナニカワ
 ●四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的
 ●理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發さし防腐の効果著し

小野屋藥店 電話一四四番



九升樽詰 一本 四、二〇
 ニリットル入 罎詰 一本 六、二
 正味一升一合
 至誠堂石鹼三ヶ入 一函
 ライオン洗濯石鹼 一個

特約店 永山酒店 平町田町 電話二〇七番

最も大切な

苗代の管理

農家へ注意を

石城農試分場が発表

米作は愈々苗代期に入り夫々播種に着手したが苗の良否は米収量の多寡を支配し米作の根本となるもので従つて苗代の管理は最も重大な事柄である、殊に今年のように氣候不順の年には特に注意を要するので、石城農試分場では近く郡下農家にその管理方に關する注意を發する事になつたがその大要は次の如くである

◇苗代日數普通三十五日を經過すれば苗の伸長如何を考慮し成るべく早く移植するを得策とす、苗の伸長短きを憂へ遅らす時は田植終り頃には徒に長苗となつて苗を不良にする事がある

◇莖太く剛健なる苗を作る事、薄播は太き苗を得る第一條件である

◇根多きもの、ない根の多少はな代代の深さによる、深ければ長く伸び浅ければ多くして短故にあ代は浅く耕起する事である、根は長きは希望する所なく寧ろ長き根はない採りに際し適宜切斷するを要する

◇病蟲害の注意、ないは無病健全なるを要し、もし病蟲害の發生を見れば移植前に於て病除豫防する事、螟卵の採集、浮遊

子の驅除、馬鹿ないの拔取、ない稻熱病の豫防等は必ず行ふ事

◇ない採り後、根葉を日光空気に曝露し又は長く日數を經過せざる事

◇通ない作の廢止、新ない代ないは增收用ないとして通ない代に優るを以て今後新ない代の養成に努め通ない代全廢を心掛ける事

平町

統計調査委員

諸般の協議

平町統計調査委員會は二十日午後一時より役場會議室に於いて開催され縣の統計基本調査に關する諸般につき協議をなした、尙同委員は左の諸氏である

- 鈴木政一 松崎秀吉 鈴木總五郎 猪狩庄平 植頭鶴松 草野廣吉 青木基平 鈴木良平

各炭礦の

鐵道納炭高

契約略成る

各方面の情勢を總合すれば鐵道省との契約の各炭礦別納炭高は左の如くであるが決定まではなほ曲折が生ずるべく今月末日となる見込である

- △常磐炭坑三十萬トン △入山炭坑四萬五千トン △古河炭坑四萬五千トン △不動澤炭坑一萬四千トン △福島炭坑二萬五千トン △小田(好間村)炭礦三萬五千トン △小田(兩井村)炭坑八千トン

小名濱漁港の

工事手控へ

配當通知少し

本縣管工事ではあるが實体は内務省に委託の直轄工事として施行したる小名濱港の改修は六年度豫算で廿九萬七千五百圓を以てケーン工事する事になつてゐるが新年度に入つてから本省から仙臺土木出張所小名濱築港事務所へ配當通知された豫算額は三分の一に當る約十萬圓きりでありは是れも政府の赤字補填の意味から若槻首相の下に本年度も亦實行豫算なるものを決定し議決豫算の減額を圖るではないかと憂慮され工事手控の模様である

後期交付金

平稅務署管内

平稅務署管内各町村五年度(自五年十月至六年三月)後期交付金總額は六千四百卅二圓であるその各町村別は左の如くである(圓單位)

- ▲一、〇八四、五九平町
- 二〇五、七四 飯野村
- 二七、八九高久村
- 一三二、七四 鹿島村
- 一四、一二 夏井村
- 一五二、四二 神谷

滿鮮土産談(七)

川崎小鳥

◇「天地佛」におさらばを告げた、僕等の自動車は、凸凹極りなき悪路を、ヤツトコソと走つて、奉天の郊外から城内に突入した。

◇其處は、支那人街の一廓である、四方に高い煉瓦積の城壁をめぐらし、城門の扉が閉ざされ、全く外部との交通が遮斷される。故にこそ人呼んで城内といふ。

◇城内には、赤や青の強い色調に、金色をあしらへ塗りつけた看板をブラ下げた、支那の大商店が目白押しに立ち並んで居る。

◇東洋一だと支那人が誇つて居るデパート「吉順」の前に自動車を止めた、しかし、支那人が此のデパートを、東洋一だと自負する事は、餘りにも誇大妄想に失し過ぎる、何れを比較しても、我が東京の三越や松坂屋其他の足許にも及びつかない貧弱さなのである。

◇例へば、エレベーターの如き、五人以上乗れば、ドカリと盤落の惶れがあるといつた調子、それに店内も薄暗くて、汚れて居る、店員も男ばかりで女は居ない。

◇一体支那は、女は働かぬ國であるらしい、滿州の何處へ家庭にも、支那人の女は見ると、支那人の女

話の種

◇煮魚を上手にする秘訣 海魚類の切身を煮る場合に先に味をつけ汁をつくり、鍋に煮立て、沸騰したところへ静かに入れて煮ます。多人數の煮魚を作る場合は鍋に汁を多く沸騰させ切身は細い竹で編んだ籠のやうな物に重ねて汁の中に入れ魚肉を動かしたり攪拌したりせぬやうにして煮上げます。

◇煮魚を煮る場合は、煮る前にちよつと鹽水に漬けてからにると身が締つて形が崩れません。川魚も料理してからサツト鹽水につけてにるがよろしい。

中は見受けぬ、支那料理屋等もさうだ、ボーイばかりで女は出ない。

◇女には、纏足を施す習慣があつた國だけに、奥深く熱居せしめ、外部とは交渉を持たせぬ事に依つて、完全に、女性を保護し得る

子守さん入 姓名在社用

外科

専門線 X 科線

上田外科醫院

平町南町 電話一二九番

移轉開店御披露

今般(錦水隣)へ移轉致し候に付從前通り御負下され度御願ひ申し上げ候

かば焼

平町田町(錦水隣)

魚

榮

出前迅速 電話四二四番

鐵道沿線の 火災を根絶 平保線區が 警戒に當る

平保線區では沿線の火災時期となつたので之が防止注意を爲すべく沿線一帯の枯草木は時機を見て焼き拂ひ可燃物を積み置きかぬこと、し沿線の民家にして萱、藁その他燃焼し易きものを積置く場合は位置の変更又は除去方を交渉しその他沿線附近の建造物の鳥の巢等を除去し、尙機關車装置の注意等をなし火災の根絶を期すると

警戒に當る

郡の共済委員連は既報の如く留任勧告も種々の復雜した關係が伏在してゐるためはかた／＼しくないのでこれが解決は縣としても非常に難問題視して居る様である

寝たまゝ

大往生

石城郡夏井村農高木與三郎(五八)は二十日朝泥酔して寢た儘二十一日になるも起きないので正午頃家人が死んでゐるのを發見した

青沼理事長 留任せず

共済委員の
中心を失ふ

青沼理事長の辭任と花澤書記の退職とにより宛も中心点を失つた形にある石城

仙臺藩郷友會 在平

舊仙臺藩同志は來る二十四日三時から松ヶ岡公園に郷友會を催す筈

人口一萬突破には 記念の祝賀會開催

小名濱が著しく人口増加
現在既に九千五百

小名濱町は商港工事着手以來著しく人口増加し商港竣工後の發展振りは今から想像に難くない處であるが緊縮政策のため昨今では増加率も幾分緩慢となつた様である、然し漁業も他に比し數段好況を續けてゐるので

四年九千二百二十九人
現在九千四百五十二人

江名の火事

肥料小屋から

二十二日午前三時石城郡江名町大字下神白三寄二九漁業馬目伊勢松(五五)方肥料製造小屋の竈より發火し同小屋一棟を全焼したが損害及び元因は目下取調中

植田のクレイ

植田 獵友會春季總會は既報の如く去る十七日植田警察署内に開催し午後一時より岩間海岸に於てクレイ射撃を行つたが成績左の如く優賞旗は泉村の手に歸した

▲一等植田四郎▲二等阿部久七▲三等坂本太平次

平町は花吹雪

平町では松ヶ岡公園新川堤の櫻が今日頃は頻りに花吹雪を散らし初め逝く春の哀愁さへ感じて來たのに是は又同じ同郡の澤渡、永戸村方面の山村の櫻は未だ花信遅く同日の花便りでは澤渡りは蕾が石の様に固く永戸村合戸は漸やく色付いた程度で開花は來月五日から十日頃の見込みである

澤渡はツボミが固い

講演會を開きノツス博士の宗教講演がある由

赤字補填

或は辛憂か

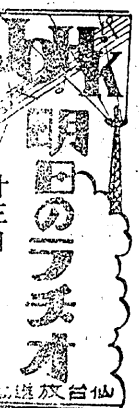
小名濱商港に
縣當局の願望

小名濱商港の六年度工事豫定について縣當局は語る「一般請負工事であれば實行豫算通牒前に請負契約した分は有功であるも直轄工事は切角準備しても減額通牒に接すれば直にその減額だけに縮少せねばならぬのでその点が非常に面倒である然し必ず實行豫算がある

宗教講演

ノツス博士が

平町金成醫師夫人主唱の婦人座談會は來る廿七日午後一時からマルトモ樓上にて



今夜は南東の風曇り時々晴れ明日は北東の風曇りの見込

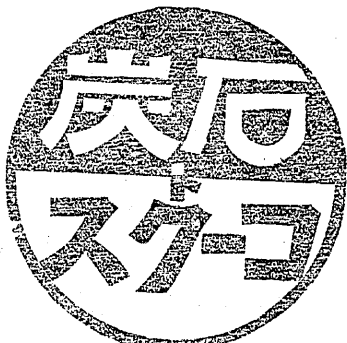
今晚の部

- 後六、〇〇 兒童劇「花和爺」神戶エドモサークル
- 後六、三〇 英語講座「初等科」(五)岡倉由三郎
- 後七、〇〇 ニュース
- 省公示事項 放送局編輯後七、二五 講演「シエークスピアを記念して」文學博士 齊藤勇
- 學博士 齊藤勇
- 連續講演「笹野權三郎」(第二席)大島伯鶴
- 長唄「吾妻八景」唄芳村伊登次 同芳村伊登壽
- 同芳村伊登玉 三味線芳村伊佐吉 同芳村登里
- ▲四等水野義之▲五等永瀬幸太郎

明日の部

- 前六、三〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 料理献立「就學兒童と献立のピクニック献立」(十一)小野玉枝
- 日用品値段

- 前一〇、三〇 講演「肺結核の話その治療」(一)醫學博士 糸川欽也
- 正午時報
- 後〇、〇五 新歌曲曲 唄 仲明静子 等 伶明久子 七孔尺八川本晴朗
- 後〇、四〇 全國ニュース
- 氣象通報 告知事項
- 後二、〇〇 家庭大學講座「日本演劇史」(第十一講)早稻田大學講師河竹繁俊
- 後三、四〇 氣象通報
- 後四、〇〇 全國ニュース
- 河北新報社 ニュース
- 後六、〇〇 (子供の時間) ヨドモの研究したお話三つ 仙臺市八幡小學校兒童(五年)上法達男(五年)岩井ふみ(六年)小松鐵子
- 後六、三〇 英語講座「中等科」第一講の五エーエフトーマス
- 後七、〇〇 全國ニュース
- 河北新報社 ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
- 後七、二五 講演「仙臺留ヶ岡と釋迦堂」第一話 小倉博
- 後八、〇〇 連續講演「笹野權三郎」第四席 大島伯鶴
- 後八、三〇 歌澤「春は賑ふ天の戸唄 歌澤寅佐久良三味線 歌澤寅佐久」
- 後八、五〇 管絃樂とテエロ獨奏(東京府在原町新交響樂團演奏所より中継) 日本放送交響樂團
- 後九、三〇 ニュース「日本棋院春季東西大手合戦」(十五)
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項



ナールほど、是レハ良イ石炭ダ
良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ
聞イテ居タガ!
此レ程マデ良イ石炭トハ
思ハシカッタ
品ガ良ク
値ガ安ク
チモットトスル
石炭ダケ
アツテ
經濟的トハ正ニ
百パーセントダ

モシク電話二三七番テスカ
早く一俵御届ケ下サイ



阿部石炭商店

平停車場前

配達ハ一俵ヨリ致シマス

